

本園の特色ある教育活動

越前市武生西幼稚園

1 園の実態

本園は、越前市の西部に位置し、周囲は商業施設、アイシンスポーツアリーナ、図書館、中央公園、だるまちゃん広場など公的施設が多く、交通量が多い地区にある。

園児は、3歳児4名、4歳児4名、5歳児8名の合計16名である。年齢別保育と異年齢児保育の両方を行っている。また、保護者の転勤による入退園や外国からの入国による入園が増えている。

昨年度末から、こども園建設工事のため園舎の解体が行われ、今年度は、武生西児童センターと武生西小学校を借りて保育を行っている。

2 活動のねらいと実践例

(1) 地域や他園との交流

① 他園との交流保育

今年度は国高幼稚園との交流保育を年間9回行い、様々な活動の機会をもった。

主に水遊びとお店やさんごっこ、お店の準備を活動の中心とした。暑い季節には、水や泥に触れて開放感を味わいながら遊ぶことをねらいとし、シャボン玉や水鉄砲、プール遊びなどで思い存分に遊ぶことができた。子ども達は交流の回数を重ねていくと、交流保育を心待ちにしている様子が見られた。

2学期には、お店やさんごっこを行った。先にお店の準備を始めた国高幼稚園の活動の様子を見せてもらい、つくったもののお話を聞くと、自分たちもお店ごっこをやってみたいという意欲につながった。園に戻り、全園児で話し合い「わなげやさん」のお店をつくることになった。子ども達で考えを出し合いながら、お店づくりを行い、交流会でお互いの進み具合を伝え合うと、本番が待ち遠しい気持ちが高まっていった。当日には、国高幼稚園の大勢の子ども達がわなげ屋さんで楽しんで遊び、喜んでくれたため、達成感を味わうことができた。また、国高幼稚園がつくった迷路や射的、レストランなどのたくさんのお店で遊ばせてもらい充実感を味わうことができた。

その他にも笹送りややきいもなどの季節の行事に参加させてもらい、子ども達にとって貴重な経験となった。

② 武生西児童センター、武生西公民館との交流

赤ちゃん教室「ひよこクラブ」と合同で「あそびにおいで」を開催した。その中で、公民館の支援によって、運動会、クリスマス会を行うことができた。園児にとっては、普段から顔を合わす機会の多い児童センターの先生と一緒に活動をすることで、親

しみの気持ちをもつきっかけとなった。また、児童センターと合同で行事を行うことで職員間が連携する機会となった。

③ 武生西小学校との交流

小学校の教室を借りて 7 月から全園児が給食を食べている。また、その教室を 2 学期から年長児の主活動の場としたため、年長児は園生活の長い時間を小学校で過ごすようになった。小学校での生活に慣れると、先生方や小学生を身近に感じ、親しみの気持ちをもつようになった。

1 年生の「秋のおもちゃランド」に招待してもらい、園児と児童の交流ができた。小学校生活にあこがれの気持ちや期待感を高めることにつながった。

④ 地域の施設の利用

温水プール、だるまちゃん広場、かこさとしふるさと絵本館などの地域の施設を利用し、活動を行った。子ども達にとって、園内にはない様々な経験につながった。また、地域の施設を身近に感じ、そのよさを知ることもつながった。

(2) 異文化に触れる活動

外国籍児が在籍しているため、子ども達は日頃から自然にポルトガル語のあいさつや簡単な単語に親しんでいる。そこで、昨年引き続き、朝の歌や身近な歌に簡単なポルトガル語を取り入れてきた。子ども達は無理なくポルトガル語に親しみ、友達と一緒に歌ったり、あいさつをしたりしている。

3 成果と今後の課題

今年度は園の環境が大きく変わったが、連携機関や小学校、地域の施設等の理解や協力があり、園児に必要な教育環境の確保に努めることができた。

次年度も幼児期にふさわしい活動となるよう、関係機関に理解や協力を求め、連携や工夫をしながら幼児教育の質の向上に努めたい。